

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	縄文を識る推進事業
事業主体 (連絡先)	茅野市教育委員会事務局 文化財課 尖石縄文考古館 0266-76-2270
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	
総事業費	2,649,862 円 (うち支援金: 1,260,000 円)

事業内容

- 『茅野市縄文かるた』の作製と活用
2,000組を作製。549組を市内小中学校等に配布、
1,451組を一般販売。1月1日に博物館でかるた取り
(参加者20人)、3月26日に考古館でかるた大会(参
加者30人)を開催。
- 『茅野市縄文ガイドブック』の作製
1,000組を作製。480組を市内小中学校等に配布、
520組を一般販売。
- 縄文風小屋づくり体験会の開催
茅野市在住の家族を対象に、7月23・24日に体験
会(参加者12人)を開催。6月11・25・26日、7月
17日に市民有志と予行演習を実施。



【かるた大会】



【小屋づくり体験会】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①未就学児から大人まで、さまざまな年齢層を対象とする、縄文に関する書籍等の作製と体験会の開催を通し、広く市民に茅野市の縄文の価値や魅力が発信できた。特に『かるた』は、読み札の応募数、販売数、大会参加者数からわかるように、縄文の価値や魅力の発信と浸透にとっても効果があった。

①縄文の価値や魅力を広く市民に発信して、縄文に関する取組への市民参加につなげる。

※自己評価 **【A】**

【理由】
成果品の売上や関連イベントの参加者等が予想を上回る数であった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

市民かるた大会と小屋づくり体験会の開催に加え、『ガイドブック』を使った遺跡めぐりを開催して、さまざまな年齢層の市民に継続的に茅野市の縄文の価値や魅力を発信し、茅野市ならではの縄文をいかしたまちづくり・人づくりにつなげていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある